

事業番号	72
------	----

平成24年度事業評価シート（平成23年度事業の評価）

1. 事業の概要

事業名	子育て支援センター運営費			担当課	子育て支援課	
事業期間	開始年度	平成22年度	～	終了予定年度	担当係	子育て支援センター
総合計画	めざすまちの姿	2 ふれあいいふれる、はつらつとしたまち				
	目標	⑤ 母と子を大切に作る（児童福祉）				
	成果指標			中間目標 (H27)		最終目標 (H32)
予算区分	一般会計	3 款 民生費		2 項 児童福祉費		1 目 児童福祉総務費
	細事業	107 子育て支援センター運営事業費				
位置づけ	関連計画					
	根拠法令	児童福祉法第6条の3第6項に規定する地域子育て支援拠点事業				
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 ・ <input type="checkbox"/> 国 ・ <input type="checkbox"/> 県 ・ <input type="checkbox"/> その他					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施・運営 <input type="checkbox"/> 一部又は全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他（					
対象（誰のため）	<input type="checkbox"/> 全市民 <input checked="" type="checkbox"/> 特定の市民 <input type="checkbox"/> 特定の団体 <input type="checkbox"/> その他					
事業の目的（何のため）	保護者の育児不安の解消を図るとともに、遊びをとおして親子のふれあいや親子同士の交流の場を提供し、子どもの健やかな成長を支える。					
内容（概要）	・親子のふれあいや親子同士の相互交流の場を提供し、児童の健全な育成を図る。また、子育て等に関する相談、援助の実施。 ①0123子育て支援事業（もぐもぐタイム・たまごちゃん広場） ②児童健全育成事業（草木染め体験・パティシエになろう・春色クッキング・正月準備）小学生対象：土・日曜日、夏・冬休みに実施 ③季節の行事（こどもの日ミニ集会・たなばた会・のびりん縁日・のびりんピック等） ④子育て相談（月2回 原則第1・第2木曜日）保健師					
これまでの改善・見直しの状況	・子育て相談ケースが多いため、平成22年9月から月2回とした。					

2. コスト

（単位：千円）

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度事業費	
事業費	予算	5,395	5,981	5,266	(内訳)	
	決算	4,881	5,409		人件費（報酬）	3,983
財源内訳	国庫支出金	2,775	2,629	2,633	補助費等（報償・保険）	430
	県支出金		150		物件費（需用費・旅費・備品購入費）	996
	地方債					5,409
	その他					
	一般財源	2,106	2,630	2,633		
職員人件費	1,886	1,433	1,314	人工	0.2 人	

### 3. 事業の評価

#### 事業の実施状況

活動指標	内容	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率	
	活動指標	0123子育て支援事業参加人員 (目標1回20人)	人	目標	360	480	720
実績			479	744			
児童健全育成事業参加人員 (目標・募集定員)		人	目標	400	108		81%
		実績	401	87			
子育て相談利用者人員 (目標1回3人)		人	目標	57	72	72	101%
		実績	70	73			

実績・改善	平成23度 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0123子育て支援事業（もぐもぐタイム・たまごちゃん広場）24回実施。</li> <li>・児童健全育成事業（草木染め体験・パティシエになろう・春色クッキング・正月準備）小学生対象：土・日曜 日、夏・冬休みに、4回実施。</li> <li>・季節の行事（こどもの日ミニ集会・たなばた会・のびりん縁日・のびりんピック等）9回実施。</li> <li>・子育て相談（月2回 原則第1・第2木曜日）保健師 24回実施。</li> </ul>				
	課題・問題点 となった事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童健全育成事業については、小学生を対象として、各小学校にチラシ等の広報を行っているが、部活やスポーツ少年団・発明クラブ等の活動があり、平成23年度事業回数を減らして実施したが、人数が減少してしまった。</li> </ul>				
	どう対処したか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度は、実施見送りとした。</li> </ul>				
	改善点					効果額 H24-H23 (千円)

自己評価	事業目的の 達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子や親同士の交流の場は、毎回事業実施後にアンケートをとっているが、評判もよく、親同士のつながりもでき、目的を達成している。</li> </ul>				
	※必要性 事業を廃止・休 止したときの影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子の交流の場や気軽に子育て相談ができる場所がなくなる。</li> </ul>				
	判定	<b>A継続</b>	現行の内容で実施	事業主体	市	
	判定理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・核家族世帯が多いなかで、事業を実施することで、親子のふれあいや交流により児童の健全育成を行うことができる。</li> </ul>				
	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0123子育て支援事業の回数の増を検討していく。</li> </ul>				